

(6) 東郊土地区画整理事業

本地区は、江別駅から東約0.8kmに位置し、江別川(現千歳川)と石狩川に挟まれ、地区の北寄りに道々江別長沼線が東西に走り、南側に市民に親しまれている泉の沼公園を配する既成市街地であった。

このような状況のなか、市東部の人口増加傾向を示す本地区への宅地需要の増加、さらには国の千歳川改修計画に伴う関係居住者の移転等が実施されるにあたり、乱雑不統制な土地の区画形質を整備改善し、健全な市街地開発を行なった。

《 事業概要 》

施 行 者	江別市	公 共 減 歩 率	20.3%
施 行 面 積	39.0ha	保 留 地 減 歩 率	8.2%
施 行 期 間	昭和39～45年度	合 算 減 歩 率	28.5%
総 事 業 費	202,456千円	公 共 用 地 率	44.8%
都 市 計 画 決 定	昭和39年11月 5日	都 市 計 画 道 路	1.4ha(1.0km)
認 可	昭和40年 3月29日	区 画 道 路	5.5ha(7.9km)
認 可 公 告	昭和40年 3月30日	公 園 ・ 緑 地	3.2ha
仮 換 地 指 定	昭和41年 7月25日	そ の 他 公 共 用 地	7.3ha
換 地 処 分 の 公 告	昭和45年 4月 3日	保 留 地 面 積	2.2ha

《 区域図 》

